

## 第1回 片瀬地区新コミュニティ施設検討会議 議事要旨

開催日時：2018年（平成30年）11月30日（金） 19時～20時半

開催場所：片瀬市民センター 第一談話室

出席者：【検討委員】

甘粕氏，鈴木氏，川久保氏，森田氏，荻野氏，正田氏，澁谷氏，  
和田氏，池田氏，坂爪氏，宇田川氏，涛崎氏，鶴岡氏，畠山氏，  
三觜氏，笹岡氏

欠席者：神保氏

出席者：【事務局】

井出市民自治部長

市民自治推進課 宮原参事，藤岡主幹，近藤課長補佐，青木課長補佐，  
石田

片瀬市民センター 村山センター長，松野主幹

配布資料：「第1回片瀬地区新コミュニティ検討会議次第」，「委員一覧」，  
「片瀬地区新コミュニティ施設検討会議の運営について」，  
「片瀬地区新コミュニティ施設再整備の方向性」

議事：

### 1 委員自己紹介

### 2 会議の運営について

#### （1）再整備の方向性の説明（事務局）

- ・市民の家の概要、地区の課題、方向性を資料に基づき、共有した。

#### （2）質疑応答

- ・新しい市民の家は何年間使うことを想定しているのか。（A委員）

→現在の片瀬山市民の家は築40年程度なので、数十年先を見据えていただければいいかと思う。（事務局）

- ・説明の中で複合化とあったが、複合化する機能について検討するということ  
でいいのか。（B委員）

→そのとおり。市の検討材料となるアイデアについて意見を出し合っていた  
きたい。（事務局）

- ・想定面積400㎡の意味がわからない。（C委員）

→主となる現在の地域市民の家の面積が200㎡なので、従となる機能を合わ

せて倍の 400 m<sup>2</sup>だろうと想定した。(事務局)

・片瀬地区全体で考えるなら、海沿いという地域性を考慮するべきではないか。今回の再整備では、市民の家ではなく避難所を基本に据えてもらいたい。(C 委員)

→市民の家の建て替えは大前提。避難施設も今後検討する機能の一つと考えていただきたい。(事務局)

・昨年度の説明の中で、市の財政状況の悪化に伴い、再整備を一年間引き延ばしたと聞いているが、少しは良くなったのか。(D 委員)

→財政状況は厳しいままだが、検討は進めていきたい。(事務局)

・ここで委員それぞれが思いを語ると時間がいくらあっても足りない。我々は、去年の公民館まつりでアンケートを行った。このメンバーも事前に紙面で思いを語り、共有してはどうか。(E 議員)

→委員会で決定すれば、そのようにしたい。(事務局)

・新しい建物に地下室は作れるか。(F 委員)

→制限はないため、可能である。(事務局)

・片瀬地区は市内で唯一、海と山が共存した地区である。その地区の地域性に配慮して検討していくべきだと思う。(G 委員)

・ここにいるメンバーには、市民の家を利用したことのない人もいる。まずは、市民の家とは何かといったことを理解する必要があるので、市民の家の条例を配布してはどうか。(A 委員)

→対応する。(事務局)

### (3) 会議の運営の説明 (事務局)

・会議で検討する事項、体制を資料に基づき確認した。

・役員を選出について他薦はあったが決定に至らなかったため、次回に持ち越すものとする。

## 3 次回日程について

2019年(平成31年)1月28日(月)19時～

片瀬市民センター 第一談話室